

お花が いっぱい 大好きが いっぱい

幼稚園だより

荒川区立日暮里幼稚園
令和 3年度 2月号
園長 勝山 典昭

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/nippori/>

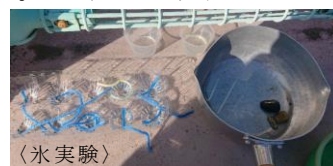


如月（きさらぎ）

副園長 野口 真由美

2月は旧暦で「如月（きさらぎ）」と言います。由来は諸説あるようですが、厳しい寒さに備えて重ね着をする「衣更着（きさらぎ）」が転じたという説もあるそうです。私たち大人は重ね着をして寒さに耐えています、子どもたちは寒さに負けず、元気いっぱい冬ならではの遊びを楽しんでいます。

3歳も組の子どもたちは、園庭のプランターで霜柱を見付けました。「氷はいつ出てきたの?」「雪かな?」と小さな発見に喜んでいました。4歳みかん組の子どもたちは、手作りの凧で凧あげをしました。風を受けて凧がフワリと揚がることに大喜び。バランスが取れず、凧がクルクルと回ってしまっても、夢中になって繰り返し走っていました。5歳ぶどう組の子どもたちは、寒い日の朝、屋上のビオトープで氷が張っていることに気が付きました。薄氷はあっという間に溶けてしまいましたが、子どもたちの気持ちには火が付きまして。「日陰に置いたら氷ができるよ」「小さい石も一緒に入れてみよう」「冷たい風が当たると凍るんだよ」などと自分なりに考えたり、友達と知っていることを教え合いながら、『氷実験』を続けています。冬を身近に感じ、遊びに取り入れながら過ごしている子どもたちの姿を見ると、「冬が寒いのは当たり前。子どもたちのように、もっと冬を楽しもう」と背筋が伸びる思いがします。



〈氷実験〉

今年度も残すところ、2か月余り。今の学級で過ごす時間もあとわずかですが、これまで以上に子どもたちと1日1日を大切に過ごしていきたいと思ひます。



2月の保育のねらい

- 【年少組】
 - ・教師や友達と一緒に、自分なりに表現して遊ぶことを楽しむ。
 - ・自分の思いを出しながら、好きな遊びを十分に楽しむ。
- 【年中組】
 - ・興味をもった遊びの中で、自分の思いや考えを出して遊ぶことを楽しむ。
 - ・友達とイメージを共有しながら、一緒に遊びを進めることを楽しむ。
- 【年長組】
 - ・学級の友達と一緒に、協力したり、認め合ったりしながら、遊びや活動を進めていくことを楽しむ。
 - ・自分なりのめあてや見通しをもち、いろいろな遊びに積極的に取り組む。

預かり教育からのお願いです

春季休業中の預かり教育の申し込みは、3月の申し込みと一緒に受け付けます。

締切日までに申し込み用紙を提出していただきますようお願いいたします。

また、月額登録されている方で、預かり教育を休止する場合でも、申請書の提出が必要になりますので、ご承知おきください。

3月分・春季休業中分の締切日 2月18日（金）





保育のスケッチ



《年少 もも組》

1月は、正月遊びを楽しみました。手回しゴマでは、友達と一緒に回し「どっちが長く回るかな。」「見て！きのこ回しができたよ！」などと楽しそうな姿が見られました。凧揚げでは、自分で絵を描いたビニール凧を園庭で揚げて「風がいっぱい入ってるよ！」と言いながら元気に走っていました。また、1月はもも組にとって初めての行事がたくさんありました。ふれあいコンサートや遠足などを経験し、素敵な思い出もたくさんできました。

来月は、表現遊びの会があります。曲に合わせて楽器遊びを楽しんだり、自分の好きな役になって劇ごっこをしたりして、学級みんなで遊ぶ時間が楽しめるようにしていきたいです。友達と一緒に同じ動きをしたり、まねをしたり、言葉を言ったりする中で、友達との繋がりが感じられるよう援助していきたいと思います。

《年中 みかん組》

友達と一緒にすごろくやカード遊びをしたり、コマに色を塗った台紙を付け替え「変身ゴマ」として回ったときの色の変化を楽しんだりしています。カラーポリ袋を使って凧を作り、「風が吹いた！」と凧揚げも楽しんでいます。冷たい北風の中でも、元気に園庭を走り回り、体が温まる感覚を味わっています。

遊びの中でのやり取りや、子ども達なりになりきって遊ぶ姿から、絵本を基にお話をつくり、学級みんなで表現遊びを楽しんでいます。子ども達の発想をできるだけ活かし、学級内で共有しながら活動を進めていけるように援助しています。友達の意見に耳を傾けて「それいい考えだね」と認め合う姿も見られるようになってきました。自分なりに伸び伸びと表現したり、友達と動きを合わせたりすることを楽しめるようにしていきたいと思います。

《年長 ぶどう組》

かるたやすごろく、トランプなど、友達と誘い合ったり、自分たちで遊び方やルールを確認したりしながら遊び、盛り上がる声が保育室中に響いています。投げゴマや竹馬、けん玉や羽根つきなどの様々な伝承遊びにも意欲的に取り組むぶどう組。「チャレンジタイム」と称して、自分なりの目標を決めて取り組む時間をつくっています。友達の頑張る姿、教師や友達からの励ましの言葉がやる気を引き出し、少し難しいことにも前向きに挑戦する活力となっているようです。学級の中で互いの頑張りを認め合い、自信につながるよう引き続き援助していきます。

学級の時間には、「今日はドッジボールをしようよ！」「久しぶりにリレーもいいね！」と、これまで以上にリクエストが上がります。学級みんなで遊ぶことを楽しもうとする気持ちが感じられます。修了まで2か月を切りました。今まで楽しんできたことを振り返ったり、やりたいことを実現したりしながら、一日一日を大切に過ごしていきます。